

分野	科目名	学年	履修時期	必修・選択	単位	時数
専門分野	医療理学療法学	2	後期	必修	4	90
<b>教育目標</b> 理学療法の対象となる疾患の急性期から回復期，すなわちリハビリテーション医療における理学療法のすべてを学ぶ． <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象疾患ごとに適切な理学療法評価（診断）が行える．</li> <li>・適切な問題点の抽出・ゴール設定・理学療法プログラム立案が行える．</li> <li>・リスク管理・経過の予測ができる．</li> <li>・立案した理学療法のプログラムが実施できる．</li> <li>・患者へ適切な説明が行える．</li> <li>・記録・報告が行える．</li> </ul>						
授業内容	学生一人に対して症例（模擬患者）を準備し，下記の時間配分で理学療法士役の学生が理学療法を実施する．実施された理学療法が実技試験であり，その症例について報告書を提出する．症例は，患者役の学生が事前に準備する．					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           評価：30分            思考：20分            説明：20分 理学療法の標的・ゴール・治療プラン            治療：30分            講義：20分         </div> <p>* 演習後 2 週間以内に症例報告書を提出しなければならない．</p>					

テキスト：なし

単位認定：出席状況および定期試験